

## おわりに

本アンケート調査の実施にあたり、まず、この調査に協力してくださった、本学の留学生の皆様にご心より感謝申し上げます。アンケートの周知、配布にあたっては、留学生センターの事務組織である留学生係をはじめ、各部局の学務係留学生担当の職員の方々、そして指導教員の先生方にもご協力いただきました。また、アンケート結果の分析にあたっては、元留学生センター教授の岡沢孝雄先生に、重要な示唆を多くいただきました。ここに記して感謝申し上げます。

本報告書は、金沢大学留学生センターが全学の留学生を対象に日本語教育に関して実施した調査をまとめた初めての報告書です。2010年春に留学生数がそれまでの350名程度から500名近くに急増し、また今後の本学の国際化の流れを考えると、これから受け入れる留学生にどのような教育が必要かをデータに基づいて検証することの必要性を現場で痛切に感じていました。アンケートの実施手順や内容については、改良すべき点もいくつかありますが、今回の経験を今後の留学生教育のための調査・研究に生かしていきたいと考えています。

総合日本語プログラムでは、本調査結果をもとに、調査実施後の2012年秋学期から今日までの間、改編を進めてきました。その間にも、本学では新たにさまざまな留学プログラムがスタートし、留学生数も増加傾向にあります。また、今後、国際化を一層進めていくという大学の方針のもと、留学生の質、量ともに今後一層多様になっていくことが予想されます。本学に留学する学習者にとって、日本語教育は彼らの日常生活、学業・研究生活の中身の重要な位置を占めます。彼らの留学生活がより充実したものになるよう、今後もよりよい日本語教育を提供すべく、取り組んでいきたいと思っております。

総合日本語プログラム コーディネーター  
深川美帆